

2020年12月21日

各位

公益財団法人 小野医学研究財団
2020年度早石修記念賞受賞者および
研究助成ならびに研究奨励助成対象者決定のお知らせ

公益財団法人 小野医学研究財団（理事長：川瀬 和一十）は、このたび開催されました理事会において、2020年度 早石修記念賞受賞者および研究助成ならびに研究奨励助成対象者を決定しましたのでお知らせします。

2020年度（第4回）早石修記念賞

本賞は、当財団設立以来、会長としてあらゆる面で財団の活動をリードしていただいた早石修先生の功績を記念し、2017年に創設しました。受賞者には、褒賞として正賞（楯）、副賞 500万円を贈呈します。

2020年度（第33回）研究助成および（第29回）研究奨励助成

研究助成対象者 12名には 200万円、研究奨励助成対象者（満40歳以下）16名には 100万円を研究助成金として贈呈します。

〒541-8526

大阪府中央区道修町2丁目1番5号

公益財団法人 小野医学研究財団

理事長 川瀬 和一十

TEL:06-6232-1960

FAX:06-6232-2527

第4回早石修記念賞

公益財団法人 小野医学研究財団（理事長：川淵 和一十）は、2020年11月25日（水）に開催されました理事会において、一般財団法人 住友病院 名誉院長・最高顧問 松澤 佑次博士に「2020年度 第4回早石修記念賞」を贈呈することを決定いたしました。

受賞者には、正賞（楯）、副賞500万円が贈られます。

贈呈式および記念講演会は、2021年6月12日（土）午後5時00分より、千里ライフサイエンスセンター（大阪）にて執り行われる予定です。

《受賞者》

松澤 佑次（まつざわ ゆうじ）博士

一般財団法人 住友病院 名誉院長・最高顧問



《受賞対象となった研究業績》

「メタボリックシンドローム概念の確立とアディポネクチンの発見による分子基盤の解明」

松澤佑次博士はCT スキャンによる肥満者の脂肪細胞の分析法を開発し、肥満と糖尿病、高脂血症、高血圧さらには動脈硬化の発症の関係は腹腔内臓脂肪（腸間膜脂肪）の蓄積によって規定されることを世界に先駆けて明らかにし、内臓脂肪症候群、メタボリックシンドロームという疾病概念を作り上げた。さらに脂肪細胞に強く発現しているアディポネクチンを発見し、アディポネクチンが強力な抗糖尿病、抗動脈硬化、抗炎症作用を持ち、生活習慣病と呼ばれる疾患の発生を抑制することを証明した。

またメタボリックシンドロームの概念は、厚生労働省が2008年から健康政策として開始した特定健診・特定保健指導の政策の論理的基盤となっており、日本での内臓脂肪にフォーカスした健康政策の成功によって、国際動脈学会を中心に内臓脂肪型肥満の重要性が広く世界的に認知された。世界の医学者を巻き込み、メタボリックシンドロームという概念を作り上げたこと、その分子基盤に迫ったこれらの業績は、「脂質研究に於ける独創的な研究による新しい分野の確立」を対象とする早石修記念賞の受賞としてふさわしいと考える。

《略歴》

- 1960年4月 大阪大学医学部入学
- 1966年3月 同 卒業
- 1967年4月 大阪大学医学部第二内科学教室に入局、研究に従事
- 1977年10月 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校留学
- 1988年5月 大阪大学講師 医学部(内科学第二)
- 1991年8月 大阪大学教授 医学部(内科学第二) (2003年3月任期終了)
(1997年4月より大学院医学系研究科生体制御医学専攻分子制御内科学に名称変更)
- 2000年4月 大阪大学医学部附属病院長 (2002年3月任期終了)
- 2003年4月 大阪大学名誉教授
- 2003年4月 一般財団法人住友病院 院長(2019年6月任期終了)
- 2019年4月 ペルー大学名誉教授
- 2019年6月 一般財団法人住友病院 名誉院長・最高顧問 (現職)

2020年度（第33回）研究助成対象者12名

助成額：1件につき200万円

（五十音順、敬称略）

氏名	役職	施設名 科名	課題名
アベ カズヒロ 阿部 一啓	准教授	名古屋大学 細胞生理学研究センター	『細胞死を司るポンプ』脂質フリッパーゼのリン脂質認識と輸送機構
イノウエ アスカ 井上 飛鳥	准教授	東北大学 大学院薬学研究科 分子細胞生化学分野	脂質メディエーターを模倣したシグナル導入による脂肪組織の代謝改善
シラカワ リュウタロウ 白川 龍太郎	助教	東北大学加齢医学研究所 基礎加齢研究分野	新規プレニル転移酵素 GGT3 による細胞内分解経路の制御機構
スズキ アキラ 鈴木 聡	教授	神戸大学大学院医学研究科 分子細胞生物学分野	ゲノムワイド sgRNA ライブラリースクリーニングによる PTEN 発現抑制分子の探索と長寿薬の開発
トヨハラ タカフミ 豊原 敬文	特任 助教	東北大学大学院医工学研究科 分子病態医工学分野	小胞体リパーゼに着目した新たな糖尿病性腎症治療の開発
フジモト トヨシ 藤本 豊士	特任 教授	順天堂大学医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター 分子細胞学分野	癌細胞における核内脂肪滴の機能的意義の解明
ホンダ アツコ 本多 敦子	特任 助教	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野	神経成長円錐における極長鎖脂肪酸産生の生理的および病態的意義の解明
ミズグチ ヒロユキ 水口 裕之	教授	大阪大学大学院薬学研究科 分子生物学分野	患者由来 iPS 細胞を用いた常染色体劣性遺伝性高コレステロール血症の病態再現と治療薬探索
ミナミノ トオル 南野 徹	教授	順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科	脂肪—心臓連関による心不全発症機構の解明
ミヤモト タツオ 宮本 達雄	准教授	広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野	繊毛コレステロール輸送におけるミトコンドリアの生理と病理
ヤマサキ ショウ 山崎 晶	教授	大阪大学微生物病研究所 分子免疫制御分野	免疫賦活能を有する内因性脂質抗原の探索
ヤマジ トシユキ 山地 俊之	室長	国立感染症研究所 細胞化学部	ゲノムワイドな遺伝子スクリーニングによるスフィンゴ脂質サルベージ経路の包括的解明

2020年度(第29回)研究奨励助成対象者16名

助成額:1件につき100万円

(五十音順、敬称略)

氏名	役職	施設名 科名	課題名
アオヤギ リョウヘイ 青柳 良平	助教	慶應義塾大学薬学部代謝 生理化学講座	酵素的に制御された酸化リン脂質代謝系による炎症制御機構の解明
イソベ ヨウスケ 磯部 洋輔	研究員	理化学研究所生命医科学研究センター メタボローム研究チーム	脂肪酸代謝物による炎症収束性マクロファージの制御機構の解明
オオノ ヒロシ 大野 博	研究員	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科	スフィンゴ脂質の脂肪酸組成制御による神経幹細胞の自己複製能制御機構解明
カノウ ヒロタカ 狩野 裕考	助教	東北医科薬科大学・薬学部/分子生体膜研究所 機能病態分子学教室	肥満に伴うスフィンゴ糖脂質発現異常を介した慢性炎症メカニズムの解明
カワイ タカフミ 河合 喬文	助教	大阪大学大学院 医学系研究科 統合生理学教室	精子生理機能に重要なイノシトールリン脂質の極性分布形成メカニズム
シノハラ ミツル 篠原 充	室長	国立長寿医療研究センター 分子基盤研究部 標的治療薬開発室	脂質輸送蛋白 APOE を標的とした健康長寿実現法の開発
スギモト コウタロウ 杉本 幸太郎	講師	福島県立医科大学医学部 基礎病理学講座	レチノイン酸シグナル調節因子の網羅的同定
スミダ ハヤカズ 住田 隼一	講師	東京大学 大学院医学系研究科 皮膚科	皮膚疾患に関わる新規脂質代謝酵素の機能解析
センジュウ ヨウスケ 千住 洋介	助教	岡山大学 異分野基礎科学研究所 進化・構造生物学研究分野	脂質結合タンパク質に着目した上皮間葉移行の新規分子機構の解明
タケダ ユキマサ 武田 行正	助教	京都府立医科大学大学院 医学研究科 細胞再生医学	新規ヒトベージュ細胞モデルによる褐色化因子の同定
タバタ ケイスケ 田端 桂介	助教	大阪大学大学院生命機能研究科 細胞内膜動態研究室	脂質代謝調節に重要な Rubicon によるオートファジー制御機構の解明
デヤマ サトシ 出山 諭司	助教	金沢大学医薬保健研究域 薬学系薬理学研究室	抑うつ状態からの自発的治癒における生理活性脂質受容体 GPR18 シグナルの役割
テラタニ トシアキ 寺谷 俊昭	特任講師	慶應義塾大学医学部内科学教室 (消化器)	肥満因子によって活性化される肝臓内感覚神経が臓器相関に果たす役割について
ナガオ モトツグ 長尾 元嗣	講師	日本医科大学大学院 医学研究科 内分泌糖尿病代謝内科学分野	β 細胞の脂肪酸動態を標的とした2型糖尿病治療の開発
ナンボ マサカズ 南保 正和	特任講師	名古屋大学 トランスフォーマティブ 生命分子研究所	甲状腺ホルモン誘導体を利用した脂質代謝疾患治療薬の創製
ワタナベ ヤスノリ 渡邊 康紀	講師	山形大学理学部理学科生物学分野	新規ミトコンドリア病治療薬開発を指向したリン脂質合成酵素 PISD の成熟化機構解明